

## 市立札幌開成中等教育学校

じー's  
環境×SDGs

学生ならではのアプローチからSDGsを広める活動をしている。ワークショップの開催やゲームの開発、展開を行っている。また、木質バイオマス発電に興味を持ち、より木質バイオマスに適した樹種は何かというテーマで課題研究を行った。



## 札幌日本大学高等学校

科学部 地球規模課題グループ  
オガクズの再活用

バイオトイレで使用されているオガクズを調べ、アンモニアの吸着実験やオガクズの水分保持率などについてさらに研究を進めている。今後は、オガクズが持っている性質の素晴らしさや林産廃棄物再利用の重要性を発信していく予定である。



## 北海道登別明日中等教育学校①

意思の硬い石を!!  
おいでよふおれすと鉱山 ～石を添えて～

ふおれすと鉱山の活動を知ってもらい、地学・資源について知ってもらう。旧幌別鉱山を教材とし、鉱物に親しみ、資源が限りあることを参加者に学んでもらうため、「君もトレジャーハンターだ!」の企画運営に取り組んでいる。



## 北海道登別明日中等教育学校②

りょーたろーとゆーせーの嵐を呼ぶみらくるクッキング  
外来魚を減らすためには

外来種の増殖により在来魚が減ってきているため、どうすれば外来魚を減らせるのか考えている。活動) ①近くの川、ダムへ生態調査、②虹鱈の養殖場への聞き込み、③NPO法人「いぎものいんく」への聞き込み、④養殖した虹鱈の試食開催。



## 北海道七飯高等学校

七飯高校科学部  
渡島大沼の生物多様性を保全する取り組み

渡島大沼は、富栄養化した水に適応したウシガエルやアメリカザリガニ等の外来種の増加など、生物多様の喪失が問題となっている。そこで、水質改善方法の研究、ウシガエルなど外来種に関する調査研究を開始。啓発活動にも力を入れる。

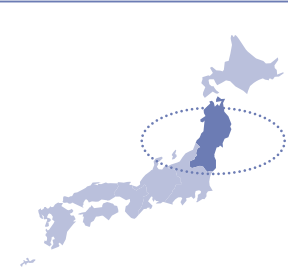


## 北海道函館水産高等学校

なかの研究所  
渡島大沼流入河川における水質調査および魚類調査

大沼や流入河川の周辺の環境を改善するために、EM菌による堆肥作り、大沼湖畔の美化活動、苅間国有林の植林、間伐体験などを行い、七飯町文化祭、世界水フォーラム（フランス大会）で発表した。水質調査に加え、魚類調査も行った。





# 東北

## 26 団体

## 青森県立むつ工業高等学校

R1 課題研究 地中熱融雪研究班  
地中熱利用による融雪研究

雪国の宿命である雪処理に関して、自分たちの手で実際に融雪装置を設計・製作する。融雪状況の検証を行い、システム改善、地中熱利用の将来性、SDGs持続可能な社会づくり、工業分野におけるものづくりを通して、社会貢献を目指す。



## 青森県立柏木農業高等学校

生物活用班  
For the future of Shirakami～ブナの森を守り、新しい森を作る～

広大なブナ原生林世界自然遺産の白神山地。津軽白神湖湿地ジオトープ周辺に残る津軽ダム工事残土捨て場に植樹活動、そして外来植物のニセアカシアの駆除研究を行っている。工事残土捨て場では、世界遺産認定30周年まで植樹を行う予定。



## 青森県立八戸北高等学校

総合的な学習（探究）  
ESDプロジェクト

八戸市とその近郊における環境保全について調査、見学、発表を行っている。また、エコキャップ回収活動や「届けよう、服のチカラ」プロジェクト等の社会貢献活動を行い、持続可能な社会づくりに向け自分の関わりについて考え意識を向上させている。



## 青森県立名久井農業高等学校

Treasure Hunters  
乾燥地の土壌流失抑制と食料増産のための集水技術の開発

西アフリカなどの乾燥地では、降雨が極端に少なく土壌は栄養分が乏しい。そこで、日本の伝統技法「三和土技術」を応用し、西アフリカなどの乾燥地で雨水を効率よく集め、食料や環境問題の解決に貢献する技術開発活動に取り組んでいる。



## 岩手県立花巻農業高等学校

食農科学科 ソーセージ研究班  
羊豚ソーセージの研究

岩手県南地域では、耕作放棄地の有効利用の対策の1つとして肉用種の羊を飼育している。岩手県流通課の推進しているラム肉と県産のブランド豚である白金豚を使った羊豚ソーセージの研究を進め、羊肉生産農家の生産物の可能性を広げたい。

